

案件3 レインボーバスの運行協議について

目次

- 1 レインボーバスの現状について
- 2 運行見直しの経過について
- 3 「地域連携サポートプラン」協定に基づく「提案書」による課題
- 4 運行の見直しについて
- 5 運行計画(案)の検討について

令和7年度 第5回
富田林市交通会議 資料3

1 レインボーバスの現状について

概要

市役所や市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして、富田林駅前～金剛連絡所間を運行。市民の移動手段を確保し、さらなる社会参加の促進を目指す。

運行日

年末年始を除く毎日

便数

1日3便(運行間隔1時間30分から2時間)

運賃

大人1回170円(小児90円)

停留所

12か所

運行事業者

近鉄バス株式会社

車両

日野自動車
※ポンチョ(小型)令和元年7月から導入

台数

1台

利用実績 (6年度)

15,051人

市からの 補助金 (6年度)

7,758,156円



2 運行見直しの経過について

令和2年	10月	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局より地域連携サポートプラン提案書交付
令和2年	11月	レインボーバスのあり方検討分科会の設置
令和3年～ 令和4年	12月～ 8月	第1回～第3回レインボーバスのあり方検討分科会の開催
令和5年	9月1日	検討の結果、運行の見直しを実施
	9月11日	金剛自動車株式会社が、路線バス事業廃止の公表をする。
	10月～ 11月	金剛バス東條線の通学の需要に対応し、甘南備地区への運行を確保する緊急措置としてレインボーバス路線を一部運休し、東條線の補完運行に充てることが本市交通会議で承認する。
	12月21日	金剛ふるさとバス東條線への補完運行の開始及びレインボーバス路線の便数が3便に減便となる。
令和7年	8月20日	富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会にて、令和7年12月20日をもって、金剛ふるさとバス東條線におけるレインボーバスの補完運行終了を承認される。

3 「地域連携サポートプラン」協定に基づく「提案書」による課題

◎ 「地域連携サポートプラン」協定に基づく「提案書」による課題

- ・レインボーバスについて、既存路線バスと重複するルートの見直しや、路線バスと重複する区間は運賃の統一化を図る等、既存路線バスに影響を与えないよう見直しを検討する。

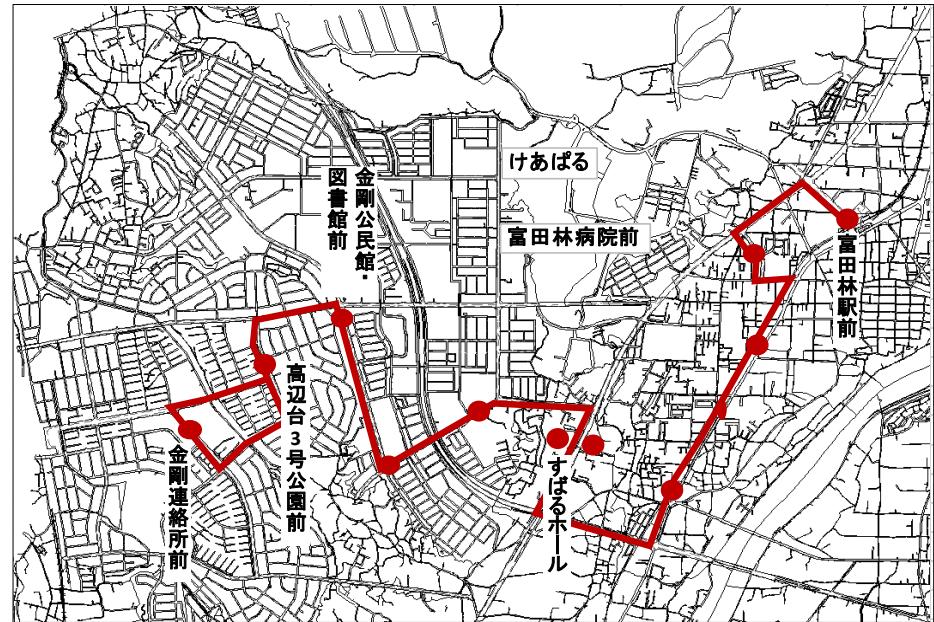


レインボーバスの方向性を検討するため、本市交通会議において、レインボーバスのあり方検討分科会を設置し、運行内容について協議を行った。

4 運行の見直しについて

令和5年9月1日より以下の運行内容を見直した。

- ルートを見直し、「けあぱる」「富田林病院前」の各停留所を廃止。
- 各便の所要時間を短縮し、利便性向上を図る。
- 便数を8便から、平日は9便、土・休日は7便とし、最終時間を繰り上げ。
- 運賃を現行の100円から、路線バス初乗り運賃と同等の170円に改定。



レインボーバス 新ルート

しかし、令和5年12月21日より、金剛ふるさとバス東條線の補完運行のため、3便に減便した現行のダイヤとなる（参考資料1参照）。

5 運行計画(案)の検討について

便数を現行の3便から、令和7年12月21日より、7.5便(最終便のみ金剛連絡所前止め)とし、運賃は、路線バス初乗り運賃と同等の金額を検討。

令和5年12月20日 以前のレインボーバス		現行レインボーバス	新・レインボーバス(案) (令和7年12月21日以降)
所要時間 ※1	58分	同左	同左
始発便 ※2	8:00 (9:15)	9:30	8時台
最終便 ※2	18:10(16:55)	13:00	17時台
便 数 ※3	平日9便 土・休日7便	平日・土・休日ともに3便	平日・土・休日とも7.5便 (最終便のみ金剛連絡所前止め)
運行間隔	1時間15分程度	1時間30分～2時間程度	1時間15分程度
運賃 ※4	170円(90円)	170円(90円)	200円(100円)

※1:各路線の往復の所要時間

※2:富田林駅前の発車時刻・()は土・休日

※3:年末年始は除く

※4()は小児運賃